

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス エール谷山中央Ⅱ		
○保護者評価実施期間	R7年12月1日		～ R8年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	R7年12月1日		～ R8年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同年代の児童が多く、みんなで一緒に活動を楽しんだり、話し合いをしながら過ごすことができる。	同じ空間で児童同士の関わりをもちながら遊ぶことができるような声かけをしたり、活動の中で児童同士で話し合い意見をまとめられるような機会を設けたりしている。	活動の中で、児童主体で動くことができる場面を増やす。学年の違う友達との関わりの中で、相手の気持ちや状況を考えることができるような支援する。
2	保護者との連携をとり、事業所・学校・ご自宅でのお子さんの様子を共有しながら支援をすることができている。	職員間で連携をとり、送迎時に活動中のお子さんの様子を伝えることができるようにしている。送迎時だけでなく、モニタリング時や電話で話をすることができるようにしている。	連携の取りやすい関係性を築くことができるように、職員から保護者へ、お子さんの様子を具体的に伝えたり、ご家庭での様子をお聞きしたりしていく。
3	児童の興味関心の幅が広がるように、様々な活動を行っている。	エール内での活動や施設、公園を利用する中で、初めての経験をししたり、自分の好きなことを見つけたりすることができるように、様々な活動を行っている。	好きなことや得意なことだけでなく、やったことのないことや苦手な事にも挑戦し、いろいろな経験ができるように活動内容を工夫していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わりや、他の放デイとの交流の機会が少ない。	近くの児童クラブや他の放デイ、地域の方との交流をするための活動の内容や実施時期の検討が難しい。	エール谷山中央との交流の機会を増やす。他の放デイや児童クラブとの連携をとり、一緒に活動することができるように計画を立てていく。地域との交流の持ち方を検討していく。
2	保護者やきょうだいなど家族が参加できる活動や研修などの実施ができていない。	7月開所後、実施に向けての検討を行うことができていなかった。	保護者やご家族が参加できるような活動内容の検討や、保護者同士の交流をもつことができるような機会を設けられるように、実施の仕方を検討していく。
3	建物前(駐車場)の整備ができていない。 建物前が道路のため、近くを車が通ることが多い。	駐車場の工事ができていないことで、けがのリスクが高まっている。	工事を進め、児童が安全に過ごすことができるような環境を作っていく。 事業所前を車が通るため、児童が外に出る際は、必ず職員がつき、安全面に配慮する。